# 2010年7月の格言

**平成２２年７月の格言は**

**俸給生活者にとっては、**
**定年は絶対にさけることができない**
**大きなショックである。**

会社側とすれば、
退職金とか年金を払えば、
規定の上では済む。

しかし、
定年になった社員と
その家族にはまだ生活がある。

そして、
いままでとは全く違った条件のもとでの
生活が始まるのだ。

定年社員の第二の人生を考えてやることこそ、
社長として大切なことあるに間違いない。

定年社員の人生といえば、
自営組や数少ない悠々自適組を除けば
「再就職」である。

この再就について面倒をみてやることである。

社員の第二の人生まで心をくばる社長は、
私の知る限り、
すべて「名社長」である。

これは決して偶然ではなく、
真剣に自らの事業に打ち込んでいる間に、
自然に社員の第二の人生まで
考えてやるようになるのではないか、と
私には思われるのである。

一倉定先生著の社長学　第６巻　「内部体勢の確立」より